

第3回学校給食あり方検討会議事録

第3回学校給食あり方検討会	
日 時	平成30年10月29日(月)13:30 ~ 15:00
場 所	教育委員会会議室
出席者	長崎市PTA連合会 濱添会長、溝上副会長、林田副会長、梅元食育委員長、原顧問 教育委員会 小原委員、坂本委員、吉松委員 学校教育関係者 小林高城台小学校校長、田中淵中学校校長、喜多戸町小学校栄養教諭、 高西南長崎小学校栄養教諭 事務局 橋田教育長、山田学校教育部長、田畑健康教育課長、岳尾学校給食係長、 岩崎主任、中川専門官、高稲指導主事、東主事
内 容	①学校給食センターの整備に関する進捗状況について(報告) ②要求水準書に盛り込む内容について(協議) ③その他
事務局	<p>みなさんこんにちは。本日は第3回学校給食あり方検討会ということで、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>昨年度にPTA連合会と教育委員会による3度の協議を経まして、学校給食のよりよいあり方を検討するためにこの会が設定されまして、本日が第3回目の会議ということでございます。これまでの皆様のご協力に関しまして、誠に感謝申し上げます。</p> <p>今回からいよいよ給食センターを整備するための要求水準書の内容についてということで、より具体的な中身に入らせていただくことになろうかと思えます。給食センターを建設するにあたりましては、徹底された衛生管理体制は当然のことですけれども、安全で安心な給食の提供、今回特に申し上げているのは食物アレルギーへの対応、さらには食育に力を入れたいと考えております。すべての子供たちの安全で健やかな成長につなげていくことを目指してまいります。委員の皆様からは貴重な忌憚のないご意見、望ましい学校給食のありかたについてのご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>大変簡単ではございますけれども、開会にあたりましてのご挨拶としたいと思います。私も、就任後初めての検討会でございますので、今日はいろいろなご意見を参考にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

第3回学校給食あり方検討会議事録

事務局	<p>資料の確認をさせていただきます。</p> <p>レジュメ</p> <p>委員の名簿</p> <p>第2回学校給食あり方検討会の議事録</p> <p>資料1「学校給食センターの整備に関する進捗状況について」</p> <p>資料2「要求水準書に盛り込む内容について」</p> <p>昨年度実施したPFI導入可能性調査の報告書を配布しております。</p> <p>それでは、次第により議事を進行させていただきます。</p> <p>まず、「第2回検討会の議事録の確認について」ですが、この議事録を皆様にご確認いただいたうえで、近日中に長崎市のホームページに掲載したいと考えております。</p> <p>この議事録について、何か修正した方がよい部分や削除した方がよい部分などがございましたら、10月31日水曜日までに事務局までご連絡ください。</p> <p>この場で何か修正などありませんか。</p>
委員	<p>内容については特に異議はないが、第2回会議の記録P4で私が、食物アレルギーと食育の充実を図ってほしいと発言したとき、教育長から市町村教委連には毎年要望している、PTAから要望を出してもらえればありがたい、との発言があり、それに対して私が、その時の資料をいただきたい、と発言している。毎年要望を出しているというのが、口頭による要望なのか、資料をもつての要望なのか、資料があるのであれば私たちも共有させていただいて、どのように県に働きかければいいのか考えたい。</p>
事務局	<p>要望書は先日市P連事務局へ送付させていただいた。事務局から配布してもらいたい。</p>
事務局	<p>ほかになれば、議事録の確認については以上といたします。ほかになにかございましたら、10月31日水曜日までにご連絡をお願いします。</p> <p>続きまして、次第2「学校給食センターの整備に関する進捗状況について」説明させていただきます。</p>
事務局	<p>それでは、次第2「学校給食センターの整備に関する進捗状況について」ご説明いたします。資料1の1ページをご覧ください。</p> <p>まず、1 豊洋台住民等への周知について、平成30年7月からこれまでの経過をご説明いたします。本市が学校給食センターの整備を予定しております豊洋台教育施設用地の周辺には、豊洋台第一自治会と日当自治会がありまして、この2つの自治会が加入する連合自治会が三重地区連合自治会となります。</p> <p>三重地区連合自治会には、7月と9月の定例会の中でお話しさせていただいておりまして、主にセンター一整備後の車の交通量に関するご意見を伺っております。</p> <p>また、豊洋台第一自治会及び日当自治会に対しましては、センターに関する情報を掲載した「かわら版」や「Q&amp;A」の配布により周知を図り、説明会も開催して、いろいろなご意見を伺っているところでござ</p>

	<p>います。</p> <p>今後も、かわら版の配布による情報提供や自治会等との意見交換会などを実施して、要望等を吸い上げていくことといたします。</p> <p>次に、2 PTAへの周知についてですが、まず、7月30日に配送対象範囲の単P会長と学校長を対象として、説明会を開催し、学校給食センターの必要性や配送対象校案をお示しさせていただきました。</p> <p>また、9月18日と10月10日には、単P会長や教育委員の皆様などを対象として、佐世保市学校給食センターへの視察見学会を実施しました。視察見学会にご参加いただいた本検討会の委員におかれましては、ご多用のところお時間を割いていただき、誠にありがとうございました。</p> <p>そして、9月27日の市P連主催の単P会長会のなかで、今後、配送対象校を中心に、中学校区で説明会を進めていく旨ご説明させていただき、10月10日の式見中学校区を皮切りとして、資料に記載のとおり、これから順次説明会を開催し、できるだけ多くの保護者に学校給食センターに関する理解を深めていただきます。市P連の事務局におかれましては、説明会の日程調整など、ご協力誠にありがとうございます。</p> <p>また、学校給食あり方検討会の中でも意見を交わしてまいりますので、どうぞよろしく願います。</p> <p>次に、3 PFIアドバイザー業務委託についてですが、豊洋台教育施設用地に建設予定の学校給食センターの整備及び運営「(仮称)長崎市三重学校給食センター整備運営事業」にあたりましては、PFI法に基づくPFI手法により設計から建設、運営まで一括して1業者に業務を委託することとしています。PFI手法では、実施方針、要求水準書(民間事業者に対して求める条件や内容を明記したもの)、落札者決定基準の作成や事業費の算出などが必要となりますが、これらを行うには、金融、法務、技術等の専門知識が必要となることから、総合アドバイザーとしてコンサルタントとの委託契約(PFIアドバイザー業務委託契約)を締結し、事業を進めていくための支援を受けることとなります。</p> <p>PFIアドバイザー業務委託の業者決定日(開札日)は、11月7日(水)の予定となっております。</p> <p>下に、PFI事業に関する当面のスケジュールを記載しております。来月第4回学校給食あり方検討会を開催して、PTA及び栄養教諭等の意見を集約し、要求水準書案に盛り込む内容を精査して、(必要であればもう1回開催して、)12月中に開催予定のPFI審査会という有識者会議の中で、実施方針(案)及び要求水準書案(素案)について審議したいと考えています。</p> <p>PFI審査会で審議した実施方針等については来年1月に公表し、4月か5月頃PFI事業者の募集を行いたいと現在のところ考えています。</p> <p>次第2に関する説明は以上です。</p>
委員	<p>資料1の1、H30. 9. 8豊洋台1丁目・2丁目住民への説明会に、「豊洋台センター建設は決定事項かについて」とあり、また、このときは信号など交通事情への質問もあったと思うが、どのように回答したのか。</p>
事務局	<p>長崎市の方針としては決定していると回答した。</p>
委員	<p>自慢できる給食センターを作ってほしいが、住民が納得しないと、後々不満が残る。話の決定権は受</p>

第3回学校給食あり方検討会議事録

	<p>け側にある。言ってダメなら書いてなど、汗をかかないと伝わらないと思う。給食センターについて、3つに分けられる。質、物、金。最低限の質を維持し、この3つをしっかりと融合すること。給食センターの建設が一番の目標ではない。子供たちの健全育成が最大の目標。大きく全体的な見方をしてほしい。</p>
事務局	<p>9月8日の説明会のときは、全世帯に案内をポストインしたが、説明会の出席者は3名だった。案内に同封したかわら版の中で交通量について説明していた。また、バス転回場前の横断歩道について、設置する方向で動いていると聞いている。</p>
委員	<p>学校が合併していくが、バスの便、夜は暗いなど、環境が改善されていない。交通事故も実際起きている。これからバス、トラックが増えるとどうなるか。3年前から言っているが、全く改善されていない。</p>
事務局	<p>非常に貴重なご意見だと思う。給食センターを作る目的は子供たちに安全で健やかな成長を助けるため、そういう視点をしっかりと持って、整備していきたい。説明のあり方も、地元の方にどうアプローチしていくか、自治会とも話をしながらしっかりと進めていきたい。</p>
事務局	<p>自分もその日は参加したが、貴重な意見が聞けた。もっと意見が聞きたいと思うので、人が集まるときに設定するなど、やり方を一考しないといけないと考えている。</p>
委員	<p>建築審査会はいつ開催か。</p>
事務局	<p>順調にいけば平成32年5月の予定。</p>
事務局	<p>平成31年4～5月にPFI事業者の募集、その業者が決まって議会で契約締結の議決が順調について平成31年12月を予定している。それから、設計して建設にとりかかる段取り。その建設を始める前、設計が終わった段階で建築審査会にかける予定。</p>
委員	<p>PFIについて、道路など周囲の環境整備は含まれているか。</p>
事務局	<p>給食センターを作る事業なので、配送ルート等は考慮するが、道路整備はPFI事業者がやるものではない。</p>
事務局	<p>建設に伴って影響が出る周囲の環境整備が必要であれば、市が責任をもってやる。</p>
事務局	<p>給食センターは教育施設なので、場長は市の職員になる。したがって長崎市が責任を持つことになる。</p>
事務局	<p>資料の訂正をお願いしたい。資料1のP3、PFI事業に関する当面のスケジュールの「実施方針等を公表」は平成31年1月中、「PFI事業者の募集」は平成31年4～5月に訂正。</p>
委員	<p>資料1のP2に今後の説明会予定があるが、時間帯は？</p>

第3回学校給食あり方検討会議事録

事務局	19時から20時である。
委員	式見地区21名以外の保護者へのフォローは予定しているか。
事務局	当日資料をお渡ししてきた。また、市全体に対するパンフレットの作成準備を進めている。
委員	本当は説明を聞きに行きたいが出席できない保護者もいる。時間帯を含めて検討してほしい。「早く給食センターができてほしい」という雰囲気作り、前向きな意見が出るようなアプローチをしたらいいと思う。
委員	資料1のP3のスケジュールについて、要求水準書に盛り込む内容は市教委が精査すると思うが、PFI審査会のメンバーは？
事務局	今からメンバーを選んでいくが、アレルギーや衛生管理に詳しい方など、給食センターという特性を考えて決める。
事務局	PFI事業に詳しい学識経験者で構成される。給食センターなので、食育や衛生管理基準などの知見を持った方が必要だと考えている。他の事業を参考にしつつ、その特性にあった人選をしたいが、具体的にはまだ決まっていない。
委員	11月のこの検討会で説明できるか。
事務局	ある程度説明できると思う。
委員	誰に託されるか気になるところである。
事務局	次第3に移らせていただきます。 次第3「要求水準書に盛り込む内容について」説明させていただきます。
事務局	次第3「要求水準書に盛り込む内容について」ご説明いたします。 資料2をご覧ください。 資料2につきましては、最後まで一括して説明すると、多くの時間を要し、審議の時間が少なくなってしまうので、大きな番号ごとに分けて説明させていただきますので、よろしく申し上げます。 先ほど資料1のほうでご説明させていただきましたように、要求水準書とは、民間事業者に対して求める条件や内容を明記したもので、PFIではこの要求水準書をもとに事業者がどのような施設にするかを検討することとなります。要求水準書は、通常の仕様書とは違い、市からの細かい指定はなく、ある程度民間の自由裁量がきくようになっていますので、PFIでは民間のノウハウが最大限活用されるというメリットが生まれます。 その中で、まず、市としての基本方針を定める必要がありますが、資料2の1ページをご覧ください。

	<p>「1 基本方針」といたしまして、左側の欄が大項目、右側の欄が中項目となっております。</p> <p>「大項目」の欄はPFI導入可能性調査報告書を基本とし、「中項目」の欄は福岡市第1給食センターの要求水準書を参考として、この表を作成いたしました。また事務局案としてのたたき台にすぎませんので、これから皆様にお諮りしたいと考えます。</p> <p>(1)安全で安心な給食を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『学校給食衛生管理基準(文部科学省)』及び『大量調理施設衛生管理マニュアル(厚生労働省)』の遵守(調理後2時間以内の喫食、ドライシステムの導入、作業区域の部屋単位での区分等)</li> <li>・HACCPの概念に基づく衛生管理の徹底</li> </ul> <p>(2)バリエーションに富んだ、適温給食の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炊飯設備やスチームコンベクションオープン等を活用した豊富なメニュー</li> <li>・高性能保温食缶等による配食・配送</li> </ul> <p>(3)食物アレルギーに適切に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用調理室の設置及び個別容器による配食</li> <li>・除去食及び代替食の提供</li> </ul> <p>(4)郷土料理を献立に取り入れ、地産地消の推進に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎の郷土料理の提供</li> <li>・ながさき伝統野菜の使用</li> <li>・長崎のまつりや年間行事に合わせた献立の採用</li> <li>・安全で新鮮な地場産農産物や地元産水産加工物の導入による積極的な地産地消</li> </ul> <p>(5)食育や環境対策を積極的に推進するとともに、近隣住宅等への影響に配慮します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学施設及び研修室の設置、調理員や栄養教諭等による講話・食育指導、ビデオレターや手紙による交流</li> <li>・省エネルギー設備の設置、廃棄物の減量・再資源化、排出ガスの低減に配慮した配送車の導入及びエコドライブによる給食配送に係る環境対策</li> <li>・騒音・振動や悪臭の発生抑制及び交通事故や交通渋滞への対策(専用送迎バス等)</li> </ul> <p>(6)高品質かつ効率的な施設整備と運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設から維持管理・修繕、調理・運営全般に渡るライフサイクルでのコスト効率化</li> <li>・学校配膳室の改修による円滑な配送及びバリアフリー化</li> <li>・食器・食缶分離配送方式の導入(配送校によっては一括配送)</li> </ul> <p>(7)災害時に炊出しが可能な施設として活用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における食料の炊出し及び備蓄が可能な設備の整備</li> </ul> <p>資料1ページの基本方針に関する説明は以上です。審議のほど、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>非常にタイトなスケジュールになっている。要求水準書は基本的に市で作るが、盛り込める意見はできるだけ盛り込む。この会の回数を増やして、それぞれの立場から意見をもらいたい。</p> <p>本日は、基本方針について意見をいただけたら。</p>
委員	<p>要求水準に盛り込む内容というのは、例えばアレルギーだったらこの人数の対応を求めるなど、そういう落とし込みをするのか？</p>

事務局	アレルギーについていうと、2「献立方式」、3「施設・設備等」、4「諸室」など、それぞれに関係する内容を落とし込む形になる。
委員	佐世保の給食センターは思った以上に高い安全基準だった。佐世保と比較するとどうか？ 栄養士は2人だったが、食育も考えると不足していると思う。
事務局	栄養士については、要求水準書に盛り込んで、業者で雇ってもらうよう要求することは可能かと思う。 佐世保はPFI事業ではないので要求水準書はない。
事務局	この要求水準書は福岡を参考にしているが、(4)の「郷土料理を献立に取り入れ、地産地消の推進に努めます」や、(5)の中にある「見学施設及び研修室の設置、調理員や栄養教諭等による講話・食育指導、ビデオレターや手紙による交流」「騒音・振動や悪臭の発生抑制及び交通事故や交通渋滞への対策」は福岡にはないものである。
委員	長崎市の食物アレルギー対応者数は？確実にこの人数に対応する能力を持つことという指示ができるのか？
事務局	導入可能性調査で150食に対応できるとの結果が出ている。要求水準書にある項目のアレルギーについては、長崎市は150食で対応できる。
委員	資料2のP1(3)「除去食及び代替食の提供」とあるが、本当にそうなるのか心配である。資料2のP2に「除去食からスタートし、半年後または1年後には代替食提供も行う」とあるが、最初から代替食もいっしょにスタートできないものか。
事務局	基本は除去食提供と考えている。まずは「除去食」の提供をできる体制を作る。その後、半年後か一年後には代替食を入れていく予定である。
事務局	施設としては除去食と代替食まで可能なものとして作ると考えている。しかし、スタートの9月からいきなり代替食の提供は運用上難しいため、まずは除去食で徹底をさせて、軌道に乗ってから代替食にする。
委員	給食センターは、ある程度は予算的なものもあるため縮小はやむを得ないが、衰退はいけない。 子育て世代としては、もし踏み込んで先取りして出来るというのであれば、食物アレルギー対応については、全国に先駆けたものになるとなれば、子育て世代にとっては長崎が印象の良い土地となる。除去食でも構わないので、一人でも多くのアレルギー対応ができるようになることが希望。基本アレルゲン以外の対応を盛り込むことはできないか。あふれる子は取り上げてもらえないことを不満に思う。今はマンパワーで対応してもらっている学校もあるが、給食センターになってそこが後退してしまうというのは、非常にかわいそうなことなので、アレルゲンの拡大に備える施設であってほしい。

第3回学校給食あり方検討会議事録

委員	日本一の給食センターをと思うが、すべては無理なので食物アレルギーで目指すのもいいと思う。なんとか頑張って、全国から視察が来るような給食センターができれば。
委員	そのためには栄養教諭が足りないなど、いろいろ問題はあると思うが、力を合わせて一緒に環境を良くしていきたいとの思いはある。そういうことも視野にいれてほしい。
事務局	そのあたり、栄養教諭からの希望はあるか。
委員	たくさんの子供に同じように給食を食べさせたいという思いはあるが、保護者の意向に沿って無理して対応するものでもないと思う。日々のチェックが一番気を遣い、対応食数は増える中、栄養教諭の数は限られているので負担が大きい。食育指導もしなければいけないとなると、さらに過酷な状況になる。対応する数が150名ともなると把握ができない。専任で市の栄養士が配置されることを希望する。
委員	対応人数が増えるとなると、専任の栄養士が必要だと思う。他の給食センターでは、最初頑張ってたっていたが、対応者が増えているために対応食材が減ってきている。広さの問題もあるので、何にでも対応するのは、実態では難しい。日本一のアレルギー対応を目指すのは難しいというのが、正直な感想。
委員	除去食で対応となれば、この6種類のアレルゲンを全部除去したメニューを1種類作るということ？ならば2献立プラス1献立ということになるので、マンパワーでもう少し期待したい。
委員	現場の栄養教諭の声や、諫早の給食センターでアレルギー対応が難しくなってきたという話を聞くと、今の状況でこの案は認識が甘いかと思う。アレルギーに限らず、この案は現場の声とかけ離れていると思う。
事務局	そのために、この場での意見をいただきたいとの提案であった。ちなみにP6(3)にはアレルギー対応食調理主任ということで、県費ではなく委託業者に要求したいと考えている。そういう意味では現場の意見も盛り込んでいると考えている。これからの会でも意見をいただいて、どこまでできるのかを考えていきたいと思う。現場の声はこれ以上難しいという声や、逆にもう少し増やしてほしいという声もある。
委員	福岡は養護学校の流動食も提供している。そういう意味では福岡の方が進んでいるといえる。長崎は、最も進んだものを検討してほしい。
委員	栄養教諭にお聞きする。対応アレルゲン以外の食材がある子はどうしているのか。
委員	魚の子供がいる。魚のだしも食べられない。保護者と連絡をとり、食べられないものがあるときは持参食となる。和食の時はほとんど食べられない日もある。
委員	スイカ、メロンの子供がいる。献立表のやりとりで保護者と確認している。1人1人にあわせて対応を決めている。1,100食ほど作っており、除去食は提供できていないが、毎月の確認だけでも大変である。



第3回学校給食あり方検討会議事録

<p>委員</p>	<p>校長としては、アレルギーチェックは大変気を遣っている。給食センターという大きな括りの中で専任栄養士が専門的知識を持ってきちんと対応することで、1人でも多くの子供に給食を提供できる、そこに保護者としては大きな期待をもっていると思うので、学校としては助かる。</p>
<p>委員</p>	<p>中学校は給食の歴史が浅いため、教諭に給食のイメージがないところから始まった。給食の担当の教諭も素人。給食センターは専任栄養士がいるということありがたい。中学校にとっては、おいしい給食が食べられるという期待に胸が膨らんでいる状態である。</p>
<p>委員</p>	<p>住宅地に隣接しているため、基本方針(5)に「周囲に配慮した外観」も入れてほしい。面積が狭いように感じるが、横にある三重中のテニスコートを潰すことはないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>テニスコートを除いた、今の建設予定地で8,000食対応のセンターを建設可能と考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の計画が、テニスコート以外の余っている土地を使って給食センターを建設し、少なくとも15年は運営してもらうことを前提としている。</p>
<p>事務局</p>	<p>P5(1)の1行目に「周辺環境及び周辺景観との調和に配慮した計画」と書いてある。</p>
<p>委員</p>	<p>市P連の食育委員長をしている。学校給食会の食材審査会、健康づくり課の食育委員会にも出席しているが、長崎市の食材を8,000食にあわせて調達するとすると組織や運用の部分を変えていかないといけないと感じている。長崎は食材が安い、その中で長崎の食材の比率は伸びていない。むしろ、より高品質なものをとると、長崎の場合、産業構造上難しい。給食センターを統廃合して8,000食を目指しても食材そのものが手に入りづらいという状況をどう改善していくのか、大きな問題である。調達の面についても努力する必要がある。</p>
<p>委員</p>	<p>2番目、3番目のスケジュールは決まっているのかどうか。早く進めてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>現状では決まっていない。議会からの指摘もあるので、少なくともここ数年、早い段階で2ヶ所目、3ヶ所目の基本計画を出すという方向で進めていく。</p>
<p>委員</p>	<p>アレルギー対応してもらった子供は、大人になった時に自分がどういうケアをしてもらったかということに気付くと思う。これが一番の食育だと思う。その環境づくりをお願いしたい。</p>